

# UNITY

# STYLE

Version.01

# BOOK



結ばれるところ

から

はじまる

「ユニティらしい考え方・やり方」とは何か・・・

そして、どんな時にいつ思い出すのがいいのか？

カタチがあるようで、無いものだから

真剣に考えて向き合い言葉にしたのが

**UNITY STYLE** です。

迷った 困った モヤった や

みんなでチームとしてベクトルを合わせる時

チャレンジする時、勇気が欲しい時に

道しるべとして、開いて見てください。

# Connect Heart's

結ばれるところ



ユニティ UNITY

結束する 団結する

私たちのミッションは、ご利用者もスタッフも  
関わる一人ひとりが、こころから結ばれることを  
大切にしていきます。

そして、結ばれるために、私たちは周りに求めら  
れている **使命** を専門家として、チームで力を  
出し合って、住み慣れた暮らしの場所での  
生活や元気・その人らしさを支えきります。

ロゴは、**冷静の青** と **情熱の赤**

人と人との重なる部分を私たちは信頼と呼びます。

Can the philosophy come true.

# Unity ?

どうやってユニティの理念を叶えていこうかな？



結ばれるところ を叶えていく  
大切にするための

## Action Plan 3 & Key Point 9

Philosophy

結ばれるところ

あなたの立場にたつこと

Action Plan 3

私たちだから、出来ることをすること  
こころ結ばれる会社と時代を作ること

How ?



Key Point 9

こうやって考え方や行動をしてみると

**UNITY STYLE**



Action Plan 3

# Stand Your Ground

あなたの立場にたつこと



### Action Plan 3

## あなたの立場に立つこと

人対人の仕事だからこそ、相手の立場に立ち考え何が出来るかを探します。

その為に、自分たちの人間性や立ち姿などの土台があり、それを大切に磨きます

### Key Point 9

#### 1 1人ひとりの私らしさに寄り添うこと

1人ひとり価値観が違うからこそ「その人らしさ」があります。  
個人でもチームでも相手の立場に立ち考えること、  
そして寄り添う姿勢を大切にします。

知る努力

自分本位ではない

運営・業務よりも一人ひとりに目をむける

こころを動かし体も動かす

#### 2 私を磨いていくこと

こころが結ばれる為には、自分本位ではできません。  
愚痴や不満・悪口からは、心が結ばれるどころか何も生まれません。  
明るく・笑顔でプラス思考に物事を捉えるなど、相手の立場にたつためには、  
自分磨きを大切にしていきます。

自分の機嫌は自分で取る

見られている意識

自己啓発

頼まれごとは試されごと

#### 3 敬意を持って対応をすること

ご利用者はもちろん、仲間に対しても敬意を持ち続けることで、  
信頼関係が生まれ、相手の立場にたつための姿勢が現れます。  
接遇や言葉使い・挨拶・感謝・謝罪など相手にどのように受け取られるかが重要です。  
敬意ある姿勢を大切に相手を尊重していきます。

接 遇

言葉使い

年上を敬う姿勢

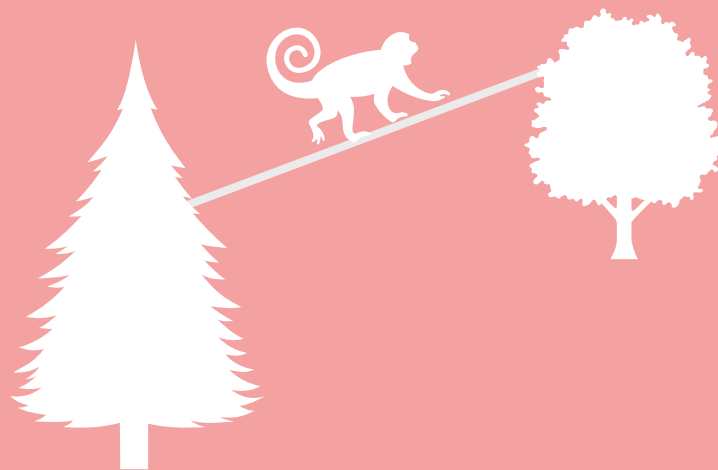
接遇できてこそその関係性



## Action Plan 3

# Do What We Can Do

私たちだから、出来ることをすること



### Action Plan 3

## 私たちだから、出来ることをすること

私たちは一般的な常識などにとらわれず「その人らしさ」を叶えるため、専門職としての知識・技術・経験を高め、行動をしていきます。

また仕事においても「改善改良」を求め、やりがいある志事にしていきます。

### Key Point 9

## 4 「何の為に～」の目的を考え、行動すること

何のためにするのか？の目的を理解し業務でなく、その人を支えるための行動をします。また、業務においても言われたからするでなく、なぜかを考え「チームのため」を中心に改善改良をします。

挑 戦

不親切な親切のケア

業務の改善改良

目的意識

## 5 専門職として学び続ける

経験と体験を積み重ねながら、それに頼ることなく知識（学問）を学んでいきます。知識は礎です。そして、経験値の裏付け（根拠）です。プロとして多職種チームを意識し、多面的にご利用者を捉え専門能力を発揮し支援します。

専門知識

プロフェッショナル

多面的視点

チームワーク

社内研修

社外研修・出張

## 6 じりつ（自立・自律）を基本に考える

在宅は自分の空間であり、自分で生活することが基本です。私たちの介護は時に家族が自宅で毎日しないといけない介護にもなります。じりつの言葉の意味を常に考え行動し「その方の私らしさ」を支え「一人ひとりの役割」を大切にします。そしてスタッフも同様に自分で考え行動していきます。

役 割

自己選択・決定

見守る介護

第一発見者は自分

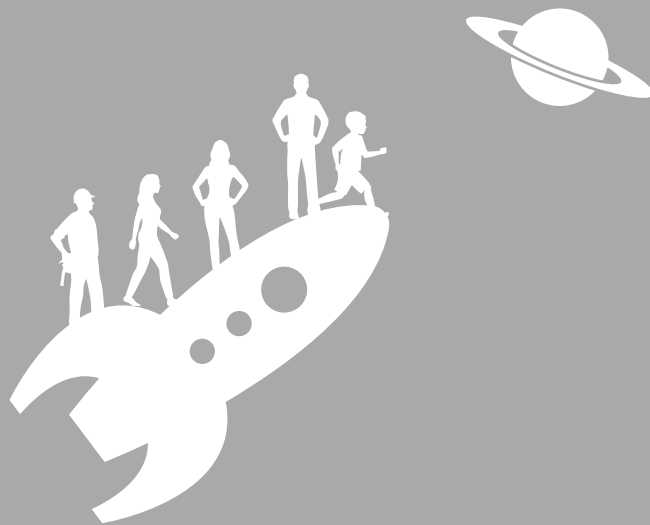
自走するスタッフ

時間・期限を守る

## Action Plan 3

# Make Era With The Company

こころ結ばれる会社と時代を作ること



### Action Plan 3

## こころ結ばれる会社と時代を作ること

時代に合わせ柔軟に進化できる会社であり続け、  
地域や個人に必要なとされるよう努力します。  
また、社内ではチームワークや仲間を思いやり  
共感し、高めあえる存在であり続けます。

### Key Point 9

## 7 チームで大きな力を発揮すること

ねたみ・ひがみ・陰口・悪口などマイナス要因はチームの  
健全な運営の妨げとなり、成長を止めます。  
意見や発言を行い、互いを高めるコミュニケーションが鉄則です。  
個々の力を合わせチームの成果として発揮するために、  
語り合い共有し連携していきます。

個の力は限界がある

互いを思いやることは鉄則

悪口陰口などマイナス言葉は論外

## 8 情を大切にする

情とは、物事に感じて起こる心の動き・気持ちであり、ご利用者やスタッフ  
関わる方全てに、こころを持って接する事を大切にできる事で、  
世の中に必要とされ続けると思います。こころを大切にしたらケア、  
情あってこそ、信頼や良好な人間関係があります。  
喜怒哀楽する志事をしていきたいと思えます。

恩

人情

感情

感謝

自分の気持ちを大切に

自分の立ち振る舞いを振り返る

## 9 行動を起こし、笑って、感動できること

「理想」をチームで「現実」に変えていく。  
ご利用者の可能性を見出し輝かしていくのが私たちの役割です。

自分たちが楽しんで初めていいケアができる

やりがいを作る会社

What is

UNITY

STYLE ?



ユニティ語録集

## ご利用者のケア編

UNITY Style

01

### その人のためになることなの？

仕事や業務本意でなく、その方のためになるよう考えているのか？  
本人の個人史を見直し、在宅や家族関係など情報を集め再検討してみよう

UNITY Style

02

### いつかするはしない、その時を大切にする

時間は有限である。今日会ったご利用者に次会えるとは限らない  
後悔のないように、その日・時間・瞬間を大切にしよう

UNITY Style

03

### ご利用者の今だけでなく、先（未来）をみよう

その方が、この先どうなっていくのかを予後予測していく  
疾患の知識や生活環境、家族構成などたくさんの情報を集め分析し検討を日々する事

UNITY Style

04

### 不親切な親切

靴を履かせるのは簡単、でも家では誰かが履かせないと外に出れないということ  
手を出すのは簡単 しかしできる事をしっかり見守ることが本当の親切である

UNITY Style

05

## 究極のサービス業

サービス業は、提供する事が当たり前 介護のプロフェッショナル  
私たちはその方の出来る事、出来ない事を理解しサービスを提供する

UNITY Style

06

## 「出来る」を「している」にしていく

「出来る」は精一杯の力 「している」は生活で普通に出来る程度の力  
出来るを何度も繰り返し習慣化まで持っていくこと しているがやっと自立である

UNITY Style

07

## 本気のレスパイトをしよう

レスパイト＝家族の介護量 介護は家族の時間が必要になる デイ参加時のレスパイトだけでなく  
家で出来る事が増え介護が減れば、それもレスパイト なら元気にしてそれを目指そう

UNITY Style

08

## デイはレストラン・美容室と同じ社会資源

デイも社会資源の一つ お客さんに自慢してもらえる事業所であるのが良い  
バリアフリー 清潔感 おしゃれ 世間の介護施設と思われない環境作り

UNITY Style

09

## タクシーは、いつもきれいだよね

人（人生の先輩）を迎える姿勢として 綺麗な車両でお迎えしたい  
タクシーは綺麗が当たり前であるように送迎車もそうでありたい

UNITY Style

10

## 預かる施設でなく、お出かけする施設であれ

「私、預かられに行くの」とは言わない ご利用者主体を忘れる事なく  
楽しみを持って自発的に「出かけてくる」施設で来てほしい

UNITY Style

11

## 私たちの介護は、家族の毎日の介護にもなる

デイで出来ない事は家でも出来ない スタッフが手を出せば家族がしないといけない  
小さな事でも少しでも出来る事を見つけていきたい

UNITY Style

12

## 心が動けば、体も動く

やりたくない事はやりたくない やりたい事が見つければ 自然と体が動いてしまう  
こころを動かせ！ 本人がやりたいと思うストライクゾーンを見つけよう

UNITY Style

13

## ご利用者にやることすべてに根拠を持つ

何の為に？ どうして？ 行動には意味、そして必ず目的を持つ事  
何に困っていて、何が必要なのか？ それが専門職

UNITY Style

14

## ご利用者が困った時、第一声をかけてもらえる関係性

「あんたが言うんやったら、頑張ってみるよ」

信頼関係があるから自律支援もできる 信じて頼られる存在に あなたとの関係はあなたしか作れない



UNITY Style

15

## 誰かのために・・・ 役割・社会参加

どんな介護状態でも必ず人には「役割」がある 活動でも必ず「誰のために」するのかを考える  
自分のためより、相手のためなら頑張れる 認知症や障害があっても出来ることはたくさんある

UNITY Style

16

## 「今日はこれもあれもせんないかん」と送迎車で！

前回デイで計画予定がたっている 朝からその準備をする 心踊る ワクワクする  
朝のお迎え時にそんな声が聞かれる取り組みをしていこう

UNITY Style

17

## その場しのぎのケアをしない

業務だから とりあえずは絶対にしない なんの為にやっているかで初めて長続きする  
とりあえずは相手も必ず見抜きます 真剣にしっかり目的と情熱を持ってケアしていこう

UNITY Style

18

## 今日も来れて会えて「よかった」を作ろう

1日1日を大切に、その日は2度とない 「あんたに会えて良かった」と言われると嬉しい  
その為に信頼関係って大切 私たちの思う以上に高齢者の「今日」って大切ではないか？

UNITY Style

19

## 挨拶は元気よく、活気よく

活気あるところに人は集まるもの 明るい雰囲気は私たちがつくるもの  
来客もご利用者にも近所にも、あいさつは徹底する事

## 自己成長編

UNITY Style

01

### 時間・期限は必ず守る

相手の時間を無駄にしない、守ることは基本であり、守らねば信頼を大きく失う。自分の都合だけでなく相手を大切にしてい

UNITY Style

02

### 継続は力なり 無意注意 までやること

忘れるのは皆一緒、意識して続ける事で  
いつの間にか意識せずに続けることができる

UNITY Style

03

### 整理整頓 心が現れます

働き場は本当に綺麗ですか？綺麗にする事を原則徹底すること 気づいたら即掃除を実行  
散らかっていると無駄も増えます ご利用者も準備片付けがわからなくなる

UNITY Style

04

### 他責でなく自責 人のせいにしない

あなたが人のせいにすれば、周りもあなたのせいにするでしょう  
自分で責任を負うからこそ成長する 他責・私じゃない・人のせいは聞いていて恥ずかしい

UNITY Style

05

## 結を決める 期限を持って事を行うこと

社会人として時間を守る、約束を守るは当たり前 いつまでにする！を守る！決める！  
もっと言えば期限の2日前に取り組むと相手の評価はグンと上がる

UNITY Style

06

## 言ったと、伝わるは違う

言っても伝わってなければ、言っていないのと一緒に 相手にどうやったら伝わるのか考え伝えよう  
言ったでは自己満 最後にアウトプットを求めるとお互い認識確認できますね

UNITY Style

07

## 知っていると、やるは違う まずはやってみること

知ってるつもりでやってみると出来ない事がある やって初めて大変さや楽しさがわかる  
体験とは体を験（ためす） 体で感じて初めて身になる

UNITY Style

08

## 見た目6割 身だしなみはマナー

おしゃれは自分の為、身だしなみは相手の為 相手が見てどう感じるかが大切  
TPOを意識すること

UNITY Style

09

## 自分の機嫌くらいは、自分で整えよう

気分屋に合わせるのは皆大変 嫌な事あっても仕事では自分を演じよう  
それが仲間を大切にすること

UNITY Style

10

## 言いたいことは、意見・発言・提案

本人に直接言える言葉が大切、陰で言えば陰口 言えないのは悪口  
面と向かって、みんなの前で意見・発言・提案に変えていこう

UNITY Style

11

## チームだからこそ、報連相

仕事は一人では出来ない 出来る人は情報を周りに共有する そして1人で絶対に溜めない  
情報の共有とコミュニケーションこそチーム力を上げる

UNITY Style

12

## スケジュール管理 人は忘れる動物です

「あっ、だった！」が多いほど業務が溜まっている 人は次の日に7割忘れる  
スケジュールは自己管理 自己を成長させるための必要なツール

UNITY Style

13

## 理想は楽観的に、計画は悲観的に細かく念入りに

「こんなの出来たら面白い！」とポジティブに  
でもやる時は、マイナス要素を徹底して深掘りし対策をたてれば、大抵のことは出来る

UNITY Style

14

## 完成はない 改善改良し続ける

完成！と思ってしまえば、時間と共に古くなる 新しい事・物を生み出すことも大切  
世の中にはずっと収まって止まっていられるものは、何一つない

UNITY Style

15

## 有言実行よりも有言速攻

自分で宣言・発した言葉・上司等に言われたことは、すぐに（速攻）するべし  
時が経てば熱は冷め人はほぼやらぬ やる環境に自ら置くこと やるように工夫する すぐやろう！

UNITY Style

16

## 準備8割 結果2割

準備の段階で結果は決まる 結果を出したければ準備を深く細かくする  
特に想定問答（応酬話法）こんな時どうするまでであると結果はついてくる

UNITY Style

17

## 頼まれごとは、試されごと

仕事は言われた事をするだけは普通 仕事に求められるのは $+ \alpha$   
相手の求めるちょっと上の結果こそ、次の仕事や役割が生まれる、そして常に試されている

UNITY Style

18

## 健康で元気に出勤、そして計画的休みの活用

自分の体調は自分で整える 人員配置を基本とする事業では計画的出勤が最も重要です  
有休は事前申請で活用する そのために体調管理と日々の予防が大切です

UNITY Style

19

## 家族を大切にしてください

仕事あつての家族・家族あつての仕事  
家族を大切にできるからこそ、仲間やご利用者を大切にできる

UNITY Style

01

## 部下の話しかけは、手をとめ最優先する

あなたにとっては小事でも、部下にとっては最優先の課題かもしれない  
どんな状況でも声かけには手をとめ目を見て話す時間を作る

UNITY Style

02

## 経過も見ろが、結果を求めることが大切

部下であれば経過も大切、でもリーダーには結果が求められる  
結果論で反省より、結果を求め続け達成することにしか意味がない 部下は常に見ている

UNITY Style

03

## 部下は判断内容より、判断する背中を見ている

緊急重要であればあるほど、その内容より即決即断するリーダーの立ち振る舞いを見る  
部下が迷っている時こそ、次の方向性を指し示すのがリーダーの役割である

UNITY Style

04

## 最小経費 最大利益

利益を生むことは福利厚生や部下の給与に反映されるからこそ、目を背けず向き合う事が重要  
大切なのは増える減らすではなく、その本質を見極めること 事業所の運営成績表でもある

UNITY Style

05

## 虫の目 鳥の目 魚の目

個人・チームや会社・世の中の視点 視座を上げると見える景色が全く違う  
今自分がどの目で見ているかを意識的にすることも重要 判断や情報収集が広がる

UNITY Style

06

## 1年後、5年後、どうなるかの想像力を持つ

部下より1歩2歩先をいくこと・できなくても意識すること 今だけの仕事は成果が出ない  
今やることは、未来へのゴールに向かっている 迷った時こそ未来を見る

UNITY Style

07

## 課題はチームで解決する それが成長になる

自分が頑張る上司の元では人は育たない チームを活かし人に役割を与え環境を作り  
大きな成果を上げるにはチームが必要である ちょっと忙しいくらいが人は成長し工夫をする

UNITY Style

08

## だろう・・・と思う慢心が事故をよぶ

「大丈夫だろう」は「大丈夫じゃない」願うのではなく対策を重ね重ね・・・重ねること  
慢心や経験談はよく失敗する これでもかのは天命を受け入れ待つのみ

UNITY Style

09

## 数字は常に毎日・毎週・毎月・毎年 意識する

いくら「頑張りました」でも数字がなければ主観的 数字から現状を評価し分析する  
収支 平均利用 参加率 新規中止 労働分配 人件費 経費 計画値 等  
自分で何を見るべきか、課題を見出す能力が重要

UNITY Style

10

## 違和感はすぐに対応する

社長はよく「なんか匂うよ・・・」と野生的直感で表現するが、これはこれまでの経験値から導き出されるもの。自分の直感は大切に、そしてすぐやること

UNITY Style

11

## 現状や常識を常に疑う 慣れは時に真実を見失う

上手く行ってる時こそ、次に何か起きる予兆 これでもいいはない  
人や環境は常に変わるからこそ、変わる勇気が必要 慣れは怖いし気づきにくい

UNITY Style

12

## 恩だったり情を忘れない・大切に

華僑の話で恩は返すものでなく次の人に回すもの チーム運営で感謝の気持ちや  
部下への恩を忘れず情を持って接することで、チームが団結していく

UNITY Style

13

## 部下の「大丈夫です」は大丈夫じゃない

「大丈夫です」とはちょっと無理してますけど・・・が含まれる 任せながらも見守り  
フォローする体制を整え支えてあげて、やったことを褒める

UNITY Style

14

## 5レンジャーのチーム 個性があるから強い

凸凹があるから平になる 完璧な人なんていないし、理想ばかりの期待は  
本人も苦勞する 違っていい それを組み合わせるのがリーダーの仕事 適材適所



UNITY Style

15

## 自己課題抽出能力

部下に耳を傾け、立ち振る舞いを感じ、面談やアンケートしたりと自ら探る能力を磨いていこう 課題は早急に解決 後回しにしない

UNITY Style

16

## 人に紐付いた仕事でなく、体制で対応すること

あの人じゃないとできない など人に仕事を固定させないこと  
大切なのは体制で仕事をしていく その人じゃなくても出来る体制を日々模索し行動する

UNITY Style

17

## 絶対無理じゃなければ、挑戦しよう

「無理じゃないけ？」や迷うのであればやってみる価値が十分にあり それをチームの文化にする  
出来ない理由を出しながら、どうやったら出来るか考えるプロセスがチームを強くする

UNITY Style

18

**やって見せ、言って聞かせて、させて見て、褒めてやらねば、人は動かじ  
話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たじ  
やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず**

マネジメントの極意の詰まった言葉 山本五十六

社長のマネジメントの座右の銘です 今、相手に何が必要なのか？言ってるだけでは人は動けない  
相手を思いやり、熱意と愛情を持って育成する事と考えます

10 POINT

# Shuttle

# Car

# Drive



送迎の極意 10ヶ条

## ☐ 私たちには毎日だけれど、その方にとっては大切な朝一番

元気な挨拶、その声に利用者さんは元気が出ます  
大変な時でも、マスクをしていても口角をあげて最高の笑顔で

## ☐ ただのお迎えなら誰でも出来る

顔色や表情に注視し、いつもと変わらないかチェック このご時世、検温は当たり前かも

## ☐ 身の回りに変化が無いか

郵便物が溜まっている いつもと靴や鞆が違う メガネしてない 見慣れない車がある  
等々いつもと違う事に早く気づく事で、異変の早期発見につながる事も多い

## ☐ 乗車時は自分の立ち位置に注意

乗り込みの際は、膝折れし転倒リスクは高い  
立ち位置は基本後ろで(その方に合わせて) 膝折れの際に対応出来るように  
(ズボンの後ろを握るのはやめましょう 自分がされたら嫌だから)

## ☐ 運転席に戻る時は、進行方向周りで

発車時に、壁などへの接触が多い 進行方向を確認し障害物などないか確認  
前に進むなら前周り バックで出るなら後ろ周り ぶつけちゃうとご利用者も不安になります

## ☐ お迎え見送り乗車降車時は小走り

ガラガラ歩いて迎えられるより、少し急ぎ目で来てくれた方が好感度アップ  
(時間の節約やちょっとした運動にも繋がります 一石二鳥)

## ☐ アクセルワークとブレーキは優しく

ブレーキを踏み切って、ご利用者の体が前に揺れていませんか?  
ご利用者さんは言いませんが、誰が上手い下手は見てますよ

## ☐ 運転時はルームミラーで表情確認!

車内での急変をいち早く気づける為に、走行中はルームミラーをチラッと見守りましょう  
(注視しすぎると前方不注意になりますので気をつけて)

## ☐ 法令遵守

道路交通法を守っていれば事故は起こりません。(貰い事故は別)  
違反し、大事故になれば業務上過失となり多大な迷惑をかけてしまいます。  
(電話連絡は停車して、乗車中のご利用者に一言断ってから)

## ☐ 送迎からサービスは始まっている

会話が良かった方が良いが、相手によります  
相談事を聞いたり、会話をしたり、今日の予定の話などしてみましょう。  
送迎はスタッフ1人になります 言葉使いや接遇・態度をご利用者は見てますよ

